



日光市更女だより

第 19 号 令和 7 年 5 月 19 日発行

会 長 挨 拶 令和 6 年度を終えて❁ 日光市更生保護女性会長 矢野 アキ

3 月のひな祭りが過ぎ暖かくなつたと喜んでいたのである間、大寒波が襲い一気に冬に戻りました。庭のクリスマスローズが寒さに震えています。令和 6 年度は災害の多い年でした。能登半島地震で津波が襲い掛かり悲惨な被害でした。その後新潟県の豪雪被害、米不足、岩手県などの大火と避難生活を余儀なくさせられた当事者の方々にお見舞い申し上げます。そんな中私たちは、例年通りの更女活動を進める事が出来ました。都市のあちこちに同じような外郭放水路を造り、洪水被害に遭うことがないようになればと思いました。素晴らしい研修先でした。今後も皆さまの御協力をお願いいたします。

❁令和 6 年度の活動❁ 藤原・栗山地区 堀川 照子

令和 6 年度は、県連盟から“地域との連携・協働活動推進地区”の指定を受けていつも通りの活動にいくつかの活動を加えて計画・実施しました。

1. 県内研修「喜連川社会復帰促進センター見学」：9 月 25 日に 20 名の参加者で見学してきました。広いい敷地で様々な施設を見させていただき、帰りは靴などたくさんのお土産を購入しました。
2. 高齢者との連携・交流：デイサービス施設に伺い、ボランティア活動をして交流を図りました。一緒にラジオ体操や歌に合わせた体操をしたり、卓上サッカー・お手玉遊び・双六などをしました。きつくボールを投げてしまったり、気分が悪くなってしまうなど様々な高齢者がいました。
3. 小学生との連携・交流：落ち葉集めやチューリップ球根植え、1・2 年生との昔遊びなどでボランティア活動をして交流を図りました。小学生は一生懸命作業をするとともに学校での生活も楽しく話してくれて交流ができました。
4. 中学 2 年生との交流・保護司さんとの連携：毎年、会員が手作りした愛の鈴を立志式に差し上げています。今年は会員が直接手渡しました。立志式に参加し、中学生が自分で選んだ漢字一文字を発表したのを聞いたのですが「挑」という漢字が多かったです。

1 週間後に、中学生・保護司さんと更生保護女性会員とで交流会を開きました。

①保護司さんの話（保護司の仕事とは） ②更生保護女性会とは ③「二つの道」DVD 視聴 ④三者交流会では立志の作文発表・「二つの道」の感想・学校生活や悩みその他などについて話し合いました。中学校の先生方から「地域の方との繋がりが少ないので、良い機会でした」という言葉をいただき、お節介伯母さんでいようと思いました。別の日に挨拶をしてくれる中学生がいたことも交流会のお蔭ではと嬉しくなりました。これからも地域の様々な人たちとの連携・交流を図り続けていきたいと考えています。また、会員の高齢化・減少に歯止めをかける工夫も図っていききたいと思ひます



喜連川視察



中学生との交流

藤原中